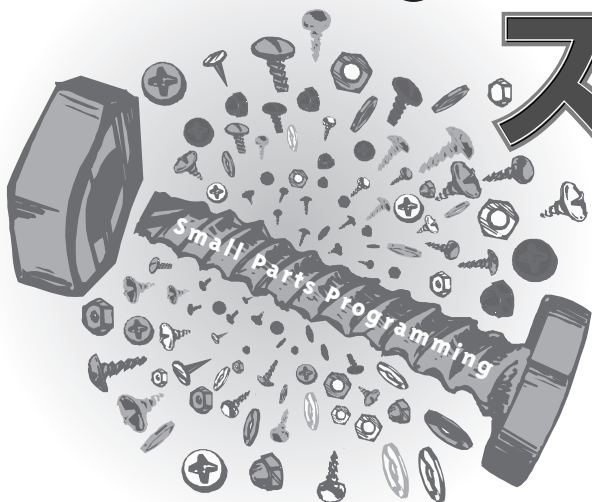


VB.NET

コンポーネント活用講座
～ 教養課程 ～

スモールパーツ プログラミング



第23回

小森 大輔 KOMORI, Daisuke

LinkLabelコントロール — Part 1 —

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

Level



Samples

この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥SMALLディレクトリに収録しています。

¥LINKLABELSAMPLE01

リンクの表示とリンク先の表示

¥LINKLABELSAMPLE02

リンクエリアの設定

¥LINKLABELSAMPLE03

複数のリンクの表示

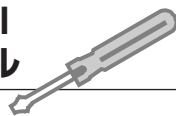
¥LINKLABELSAMPLE04

LinkLabelを使用したランチャーの作成

本連載は、Visual Basic .NET (以下VB.NET) の標準コントロールにスポットを当て、とことん使い込んで、その機能や役割を探ってゆきます。

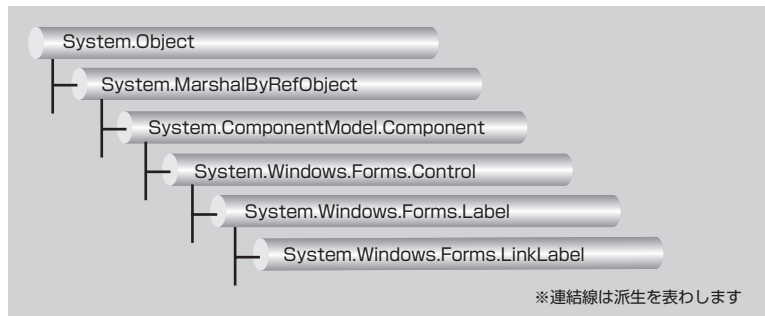
今回はVisual Basic .NETで新しく登場した「LinkLabelコントロール」を取り上げてみたいと思います。

LinkLabel コントロール



LinkLabelコントロールは、図1を見てわかるようにLabelクラスから派生した階層に位置しています。

図1：LinkLabel階層図



※接続線は派生を表わします

このコントロールはLabelの機能を引き継ぐと共に、WebスタイルのリンクをWindows Formアプリケーションに追加することができます。また、そのリンクを表わすテキストの一部を、他のリンクとして設定することも可能です。

リスト1は、フォームにLinkLabelコントロールをひとつ配置し、翔泳社のホームページへのリンクを設定するサンプルです。

このサンプルでは、AutoSizeプロパティやテキストを設定した後に、

```
LinkLabel1.Links(0).LinkData = _
"http://www.shoelisha.co.jp/"
```

Small Parts Programming

リスト1：LinkLabelコントロールでのリンクの表示

```
Protected Sub SetInitialValue()
    With LinkLabel1
        ' サイズを自動調整
        .AutoSize = True

        ' テキストを設定
        .Text = "翔泳社ホームページ"

        ' LinkDataを設定
        .Links(0).LinkData = "http://www.shoeisha.co.jp/"
    End With
End Sub
```

のように、リンクを設定しています。

LinkLabelコントロールのLinksプロパティは、リンクのコレクションを表わすLinkCollectionクラスを参照することができます。このコレクションの要素であるItemプロパティで、Linkクラスを参照することができ、このLinkクラスのLinkDataプロパティに、リンクに関連づけられているデータを格納します。

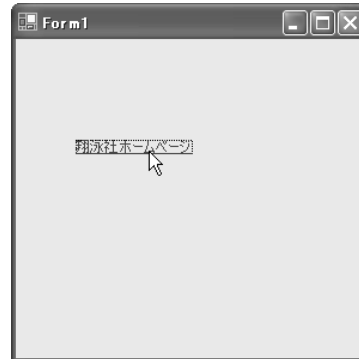
なお、Itemプロパティは、LinkCollectionのデフォルトプロパティなので、リスト1では省略していますが、

```
LinkLabel1.Links.Item(0).LinkData = _
    "http://www.shoeisha.co.jp/"
```

のように書くこともできます。

このようにLinkLabelコントロールは、デフォルトの状態ではLinkLabelコントロールのテキスト全体を含む既定のリンクがLinkCollectionに追加されています。リン

図2：LinkLabelコントロール

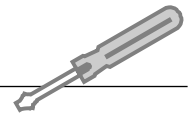


ク領域は、後述するLinkAreaプロパティや、LinkCollectionクラスのAddメソッドで変更することも可能です。

図2は、このサンプルを実行した画面です。

LinkLabelコントロールの主なプロパティは表1のようになっています。

リンク先へのジャンプ



リンクのデータを設定するだけで、ウィンドウに配置したLinkLabelコントロールの文字列に、リンクが設定されたような「表示」にはなりませんが、リンク先へ移動するようなアクションを自動的に行ってくれるわけではありません。実際にリンク先へジャンプさせるには、リンクが設定された文字列がクリックされたときに発生

表1：主なプロパティ

プロパティ	説明	値
ActiveLinkColor	リンクがクリックされている最中に使用される色	色を表わすColor構造体で、デフォルトはColor.Red
DisabledLinkColor	無効なリンクを表示するときに使われる色	色を表わすColor構造体
LinkArea	テキスト内でリンクとして処理される領域	リンクとして処理される領域を表わすLinkArea構造体
LinkBehavior	リンクの下線の表示のしかた	LinkBehavior列挙体、デフォルトはLinkBehavior.SystemDefault
LinkColor	リンクを表示するときに使用される色	色を表わすColor構造体で、デフォルトはColor.Blue
Links	コントロールに格納されているリンクのコレクション	リンクを表わすLinkCollectionクラス
LinkVisited	リンク先に移動したことがある場合に、リンクの表示色を変更するかどうか	Boolean
VisitedLinkColor	LinkVisitedプロパティが“True”に設定されているときのリンクの色	色を表わすColor構造体で、デフォルトはColor.Purple